

豊富温泉は、大正末期に石油の試掘中に温泉が噴出したのがきっかけで誕生しました。

地域では、温泉に含まれる油分が、やけどや虫刺されに効くとして、長く親しまれてきましたが、油分に含まれるタールに抗炎症作用があることが知られるようになり、今ではアトピー等の治療のため、町外や道外からも多くの湯治客が訪れる温泉となっています。

湯治客の増加に伴い、様々なニーズに対応するため、平成21年に町営温泉『豊富温泉ふれあいセンター』に、豊富温泉コンシェルジュ・デスクが設置され、湯治に関する相談の他に、宿泊施設の紹介、観光案内、移住、求職等のサポートが行われています。

また、湯治客に豊富町を知ってもらう取組も各種行われており、サロベツ湿原ツアーや、酪農家の女性団体による地元食材を使った伝統料理づくりなどの取組を通して、湯治客と地域住民との交流も広がっています。

温泉を貴重な地域資源として、町内外の交流がさらに発展していくことを祈念いたします。

「豊富温泉コンシェルジュ・デスク」については、わが村HPでもご紹介しております↓
http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000jxk7-att/ud49g7000000kjp.pdf

=====
【わが村団体情報】
=====

●2018 第32回タンチョウクイズ

<わが村団体名： [NPO法人美しい村・鶴居村観光協会](#)>

鶴居村観光協会では、今年、釧路圏で確認されるタンチョウの数を予想するクイズを行っています。ピタリ賞として正解者の中から抽選で1名様に現金10万円、さらに応募者全員の中から抽選で100名様に豪華プレゼントが当たります。

【応募締切】平成30年12月2日（日）※応募は終了しております。

【発表日】平成31年1月18日（金）

【HP】 <http://tsurui-kanko.com/>

◎農家のかあさん土曜日

<わが村団体名： [江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会](#)>

江別の農家のかあさんたち自慢の手作り品が大集合します！

【開催日時】平成31年1月19日（土）10：00～14：00

【開催場所】江別防災ステーション（江別市大川通6）

【お問合せ】江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会事務局
（江別市役所 農業振興課内）

TEL：011-381-1025

FAX：011-381-1072

【HP】 <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/nogyo/>

◎農家のいきいき母さん土曜日

<わが村団体名： [いきいき母さん土曜日運営委員会](#)>

色々な手作り品のほかランチやコーヒーセットなどの飲食コーナーもありますよ♪

1月のイベントは、ガーリックオイル作りです！

【開催日時】平成31年1月19日（土）10：00～14：00

【開催場所】T's BAR（ティーズバー）（岩見沢市5条西2丁目8番地6）

【お問合せ】いきいき母さん土曜日運営委員会 代表 池田さん

TEL：090-2875-0033

◎農家のかあさん土曜日

<わが村団体名： [江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会](#)>

1月は「イオンタウン江別」でも土曜日開催します！

【開催日時】平成31年1月26日(土) 9:00~16:00

【開催場所】イオンタウン江別(江別市野幌町10-1)

【お問合せ】江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会事務局
(江別市役所 農業振興課内)

TEL: 011-381-1025

FAX: 011-381-1072

【HP】<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/nogyo/>

◎北見厳寒の焼き肉まつり2019

くわが村団体名: 厳寒の焼き肉まつり実行委員会

北見の寒さと焼き肉をPRしようと、転勤族の皆さんの発案から始まったこの焼き肉まつり。
-10℃前後の夜空の下、毎年大いに盛り上がります! 厳寒の北見を楽しむ、この時期
ならではのイベントです。

【日時】平成31年2月1日(金) 17:00~20:00(開場16:30)

【会場】北見芸術文化ホール駐車場 特設会場(北見市泉町1丁目3-22)

【HP】<http://kitamikanko.jp/event/event15.html>

【FB】<https://ja-jp.facebook.com/kitami.genkan.yakiniku>

◎「第14回じゃがリンピック」参加者募集中

くわが村団体名: 白滝じゃが生産部会 加工班

「じゃがリンピック」はじゃがいものオリジナルレシピを持ち寄る料理コンテストです。
応募規定は『オリジナルのじゃがいも料理であり、当日会場に料理を持参できること』
審査基準は『おいしさ・手軽さ・作ってみたい』です。秘蔵のレシピがある方は、ぜひ
応募してみませんか?

【日時】平成31年2月16日(土) 11:30~14:00 ※出品者のみ入場可能

【応募締切】平成31年1月31日(木)

【場所】遠軽町白滝849 白滝基幹集落センター(遠軽町白滝849)

【連絡先】JAえんゆう白滝支所

TEL: 0158-48-2311

FAX: 0158-48-2314

◎しばれフェスティバル

くわが村団体名: しばれフェスティバル実行委員会

日本一寒い町陸別町で、『しばれフェスティバル』が今年も開催されます。
寒さを逆手にみんなで楽しむこのお祭りはまさに陸別町のソウルイベント。
今年は、土日の2日間とも吉本の芸人によるお笑いライブを開催します。

【開催日時】平成31年2月2日(土)~3日(日)

【開催場所】陸別ウエンベツイベント広場(陸別町ウエンベツ)

【お問合せ】しばれフェスティバル実行委員会(陸別町役場 産業振興課内)

TEL: 0156-27-3990

【HP】<http://shibare.com/>

◎野付半島ポンニクルの森スノーシュー・モニターツアー

くわが村団体名: 別海町グリーン・ツーリズムネットワーク

冬の野付半島ポンニクルの森はどんな景観を見せてくれるでしょうか。

新しいツアーとして皆さんに喜ばれる価値があるものにするために、どんな工夫をすれば魅力あるツアーになるのか、歩いた後に予定している意見交換会で感じたことを話してください。

【開催日時】平成31年2月上旬から中旬(詳細未定)

【集合・解散場所】野付半島ネイチャーセンター(別海町野付63番地)

【参加費】無料（ガイド料・貸スノーシュー・軽食）
【申込・締切】未定
【申込・問合せ】別海町役場観光課 TEL：0153-75-2111
【H P】<http://betsukai-kanko.jp/>

◎第32回タンチョウフェスティバル

＜わが村団体名：NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会＞
タンチョウの衣装を着て氷上に片足（素足）で立つ時間を競う「タンチョウ耐寒競技」や、「タンチョウ鳴き声コンテスト」などタンチョウにちなんだ催しが行われます。

【開催日時】平成31年2月10日（日）11：00～14：00
【開催場所】鶴居村総合センター前庭（鶴居村鶴居西1丁目1番地）
【お問合せ】鶴居村ふるさとまつり実行委員会（鶴居村役場産業振興課内）
TEL：0154-64-2114
【H P】<http://www.vill.tsurui.lg.jp/index.html>

=====
【現在開催中のイベント情報】
=====

●本土最東端 パノラマ・クルーズ

＜わが村団体名：[歯舞地区マリンビジョン協議会](#)＞
4月30日まで、歯舞漁港から納沙布岬・貝殻灯台中間点までの周遊観光を行います。
北方領土を間近に望むことができ、オジロワシ等の海鳥やゼニガタアザラシ等の哺乳類も
見ることが出来ます。

【運行期間】4月30日（火）まで

※1月1日～1月31日は運休となっております。

【運行ルート】歯舞漁港→納沙布岬・貝殻島灯台中間点→歯舞漁港（所要時間約2時間）

【お問合せ】歯舞漁業協同組合 指導部・遊覧船係 TEL：0153-28-2124

【H P】<https://www.jf-habomai.jp/index.html>

=====
【活動支援メニュー情報】
=====

◎北海道どさんこプラザ・テスト販売品（第1四半期）の募集について

販路拡大・商品開発などに取組む道内企業の方々に応援するための制度です。
新商品を3ヶ月間「北海道どさんこプラザ」（札幌・有楽町・名古屋）で販売します。
販売過程の情報提供や店舗からのアドバイスも受けられますので、新商品の磨き上げと
して、いかがでしょうか。

【募集期間】1月4日（金）から2月20日（水）まで

【申し込み】下記URLから申込書をダウンロード・記載の上、各総合振興局・振興局
商工労働観光課へお申し込み下さい。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/dosanko/test.htm>

=====
＜編集後記＞

新年明けましておめでとうございます！今年の干支は殿（しんがり）の「イノシシ」ですか。
津軽海峡には生物分布の境界線（ブラキストン線）がありますが、猪もまた北海道には棲息
しない生物です。エゾシカみたいに偶然見かけた人とかいたらそれは錯覚ですよ！

私の中での猪のイメージは、花札に萩と一緒に描かれているぐらいの存在です。

萩は根に根粒菌がいて痩せた土地でもよく育ち、猪は多産で家族繁栄の象徴ということは有
名ですので、単なる「縁起物セット」なのかなと思っていましたら、古来、萩は臥猪の床（ふ
すどのとこ）として知られており、凶暴な野生の獣も萩や萱（かや）を倒して身を休める、転

じて優しげで美しい物と野生で荒々しい物を対比し、物事の「調和」「バランス」を表しているのだとか。

古の日本人の感性ってほんと奥深いですよ。

それって、わが村で言えば、農林水産業が織りなす美しい景観と土地改良施設との調和とかでしょうか（ちょっと違う）？

さて、それはそうとしまして、冒頭でも記載のとおり、創刊から100号を超えました本メルマガを更に良いものにするための大アンケートを実施しておりますので、既に編集後記をここまで読んで下さっているような奇妙な方こそ、是非御協力を！

↓コチラから！

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/splaat000001gxxd.html

それでは皆さま、今年も「参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう」を合言葉に、一層のご支援のほど、何卒よろしく申し上げます。

釣り吉

=====

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓バックナンバーはこちらからご覧ください。

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000xu2k.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。
